

# 2013年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社TOKAIホールディングス  
代表取締役社長 鴫田勝彦  
2012年11月13日

## Content

- 1 2012年度 第2四半期連結決算について
- 2 IP13の折り返しである2012年度上期を終えて
- 3 グループ主要事業のIP13後半の最優先課題
- 4 2012年度 通期業績予想及び配当について

# Content

- 1 2012年度 第2四半期連結決算について
- 2 IP13の折り返しである2012年度上期を終えて
- 3 グループ主要事業のIP13後半の最優先課題
- 4 2012年度 通期業績予想及び配当について

2

 TOKAIホールディングス

## (1)P/L

- 売上高は3期連続で過去最高を更新。
- 前年同期比で増収増益を達成。
- 顧客増加及び合理化・効率化の推進で営業利益は17%増加。
- 四半期純利益も2期連続で改善、季節変動影響を吸収し黒字へ。

(百万円)

	2012/3期 Q2		2013/3期 Q2		前年同期比	前回(7/31)予想比
	実績	利益率	実績	利益率	増減	増減
売上高	82,586	-	83,610	-	+1,024	△790
営業利益	2,200	2.7	2,573	3.1	+372	+1,253
経常利益	1,646	2.0	2,155	2.6	+509	+1,455
当期純利益	△39	-	331	0.4	+370	+1,141

3

当社は設立2期目であり、「過去最高」等の表記は当社設立以前のTOKAI連結から通算したものを記載しております。

 TOKAIホールディングス

## (2) セグメント別売上高

- アクア事業の顧客増加(+8千件)、ガス仕入れコスト上昇分を価格転嫁等で「ガス・石油」が9億円増。
- ISP事業の顧客増加(+55千件増)等で「情報・通信」が2億円増。
- 今年度本格参入した総合リフォーム事業の順調な立ち上がりで「建築・不動産」が3億円増。

(百万円)

	2012/3期 Q2		2013/3期 Q2		前年同期比	前回(7/31)予想比
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減
ガス・石油	43,620	52.8	44,529	53.3	+909	△371
情報・通信	18,305	22.2	18,488	22.1	+183	△112
CATV	12,108	14.7	11,840	14.2	△268	+140
建築・不動産	6,216	7.5	6,541	7.8	+325	△559
その他	2,334	2.8	2,211	2.6	△123	+111
合計	82,586	100.0	83,610	100.0	+1,024	△790

4

TOKAIホールディングス

## (3) セグメント別営業利益

- 上期は、季節変動がない「情報・通信」でのストックビジネスの利益が大きく貢献。
- 「ガス・石油」は、合理化・効率化等で6億円改善、営業黒字に。
- 「CATV」は大手通信事業者への競合対策で3億円減益となったが、その長期継続約束割引は中止防止、新規獲得に効果。

(百万円)

	2012/3期 Q2		2013/3期 Q2		前年同期比	前回(7/31)予想比
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減
ガス・石油	△338	△15.4	234	9.1	+572	+674
情報・通信	2,024	92.0	2,049	79.6	+25	+169
CATV	696	31.6	428	16.6	△268	+98
建築・不動産	△57	△2.6	△137	△5.3	△80	△37
その他	△343	△15.6	△181	△7.0	+162	+29
調整額	219	10.0	179	7.0	△40	+289
合計	2,200	100.0	2,573	100.0	+372	+1,253

5

TOKAIホールディングス

## (4) キャッシュフロー

- 当累計期間での利益増加に加え、ROI向上に努め運転資本を圧縮したことにより、フリーキャッシュフローが12億円増加。
- フリーキャッシュフロー79億円を原資として財務体質改善が進捗。

(百万円)

	2012/3期 Q2	2013/3期 Q2	前年同期比
営業活動によるCF	11,493	12,533	+1,040
投資活動によるCF	△4,824	△4,657	+166
フリーキャッシュフロー	6,669	7,876	+1,207
財務活動によるCF	△10,283	△7,717	+2,566
現金・現金同等物の増減額	△3,615	+153	+3,768
同 期末残高	4,526	2,585	△1,940

6

 TOKAIホールディングス

## (5) B/S

- 有利子負債残高が1,007億円となり、同残高を1,000億円未満とするIP13(目標996億円)をほぼ達成。
  - 経営統合前1,240億円から△233億円削減
- 自己資本比率も経営統合前(7.7%)から倍増し15.2%に、財務体質改善は着実に進捗。

(百万円)

	2012/3期末	2013/3期 Q2	前期末比
資産合計	183,735	171,914	△11,821
負債合計	156,553	144,911	△11,642
純資産合計	27,181	27,002	△178
有利子負債残高	105,659	100,715	△4,944
自己資本比率	14.3%	15.2%	+0.9%
1株当たり純資産	262.92円	261.12円	△1.80円

7

 TOKAIホールディングス

## (6)グループ顧客件数実績

- 営業活動により3万件増。（但し一部事業譲渡・休止顧客の整理△4万件）
- ブロードバンドはADSL顧客減少の2倍以上のFTTH顧客の獲得で19万件増と堅調に推移。
- アクア顧客が10万件突破、モバイル顧客も20万件突破。

(千件)

	2012/3期末	2013/3期 Q2	前期末比
ガス	648	635	△14
情報通信(固定・無線)	758	785	+27
情報通信(CATV)	722	686	△36
情報通信(モバイル)	193	202	+9
アクア	97	102	+5
セキュリティ	20	20	0
合計	2,415	2,405	△10

上記、情報通信(固定・無線)にはダイヤルアップ接続顧客11千件を含む

8

 TOKAIホールディングス

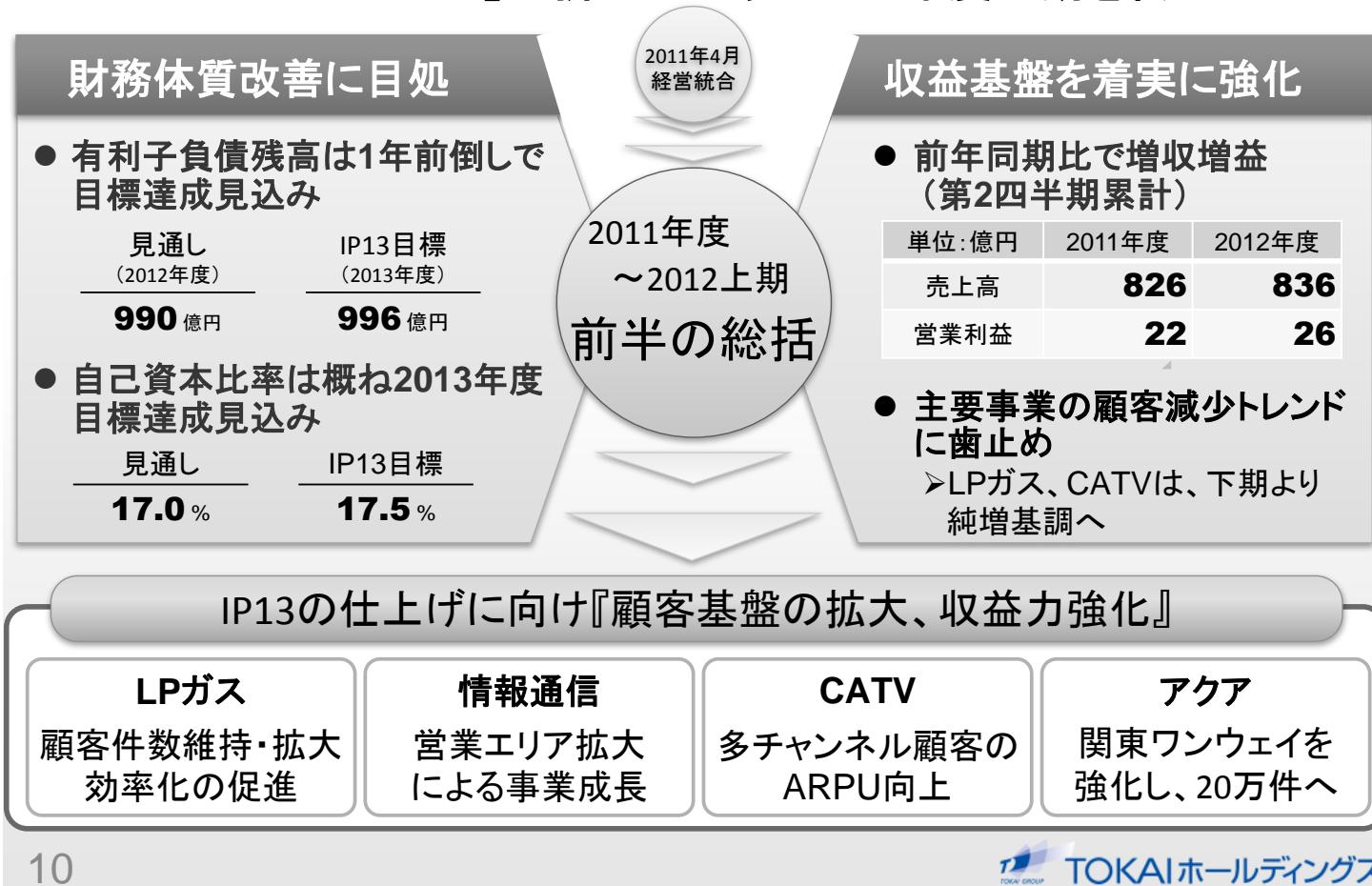
## Content

- 1 2012年度 第2四半期連結決算について
- 2 IP13の折り返しである2012年度上期を終えて
- 3 グループ主要事業のIP13後半の最優先課題
- 4 2012年度 通期業績予想及び配当について

9

 TOKAIホールディングス

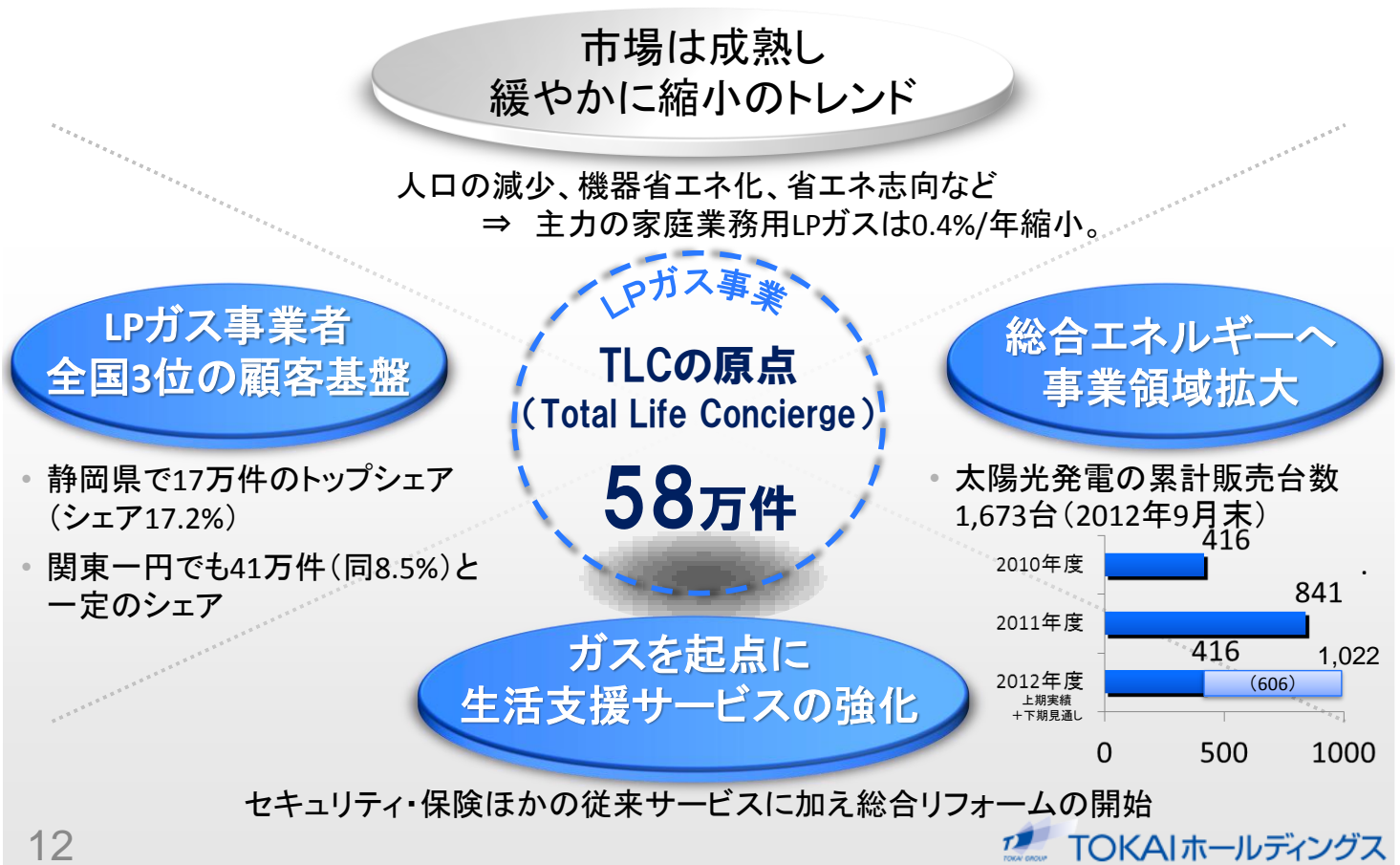
# 「Innovation Plan 2013」の折返しである2012年度上期を終えて



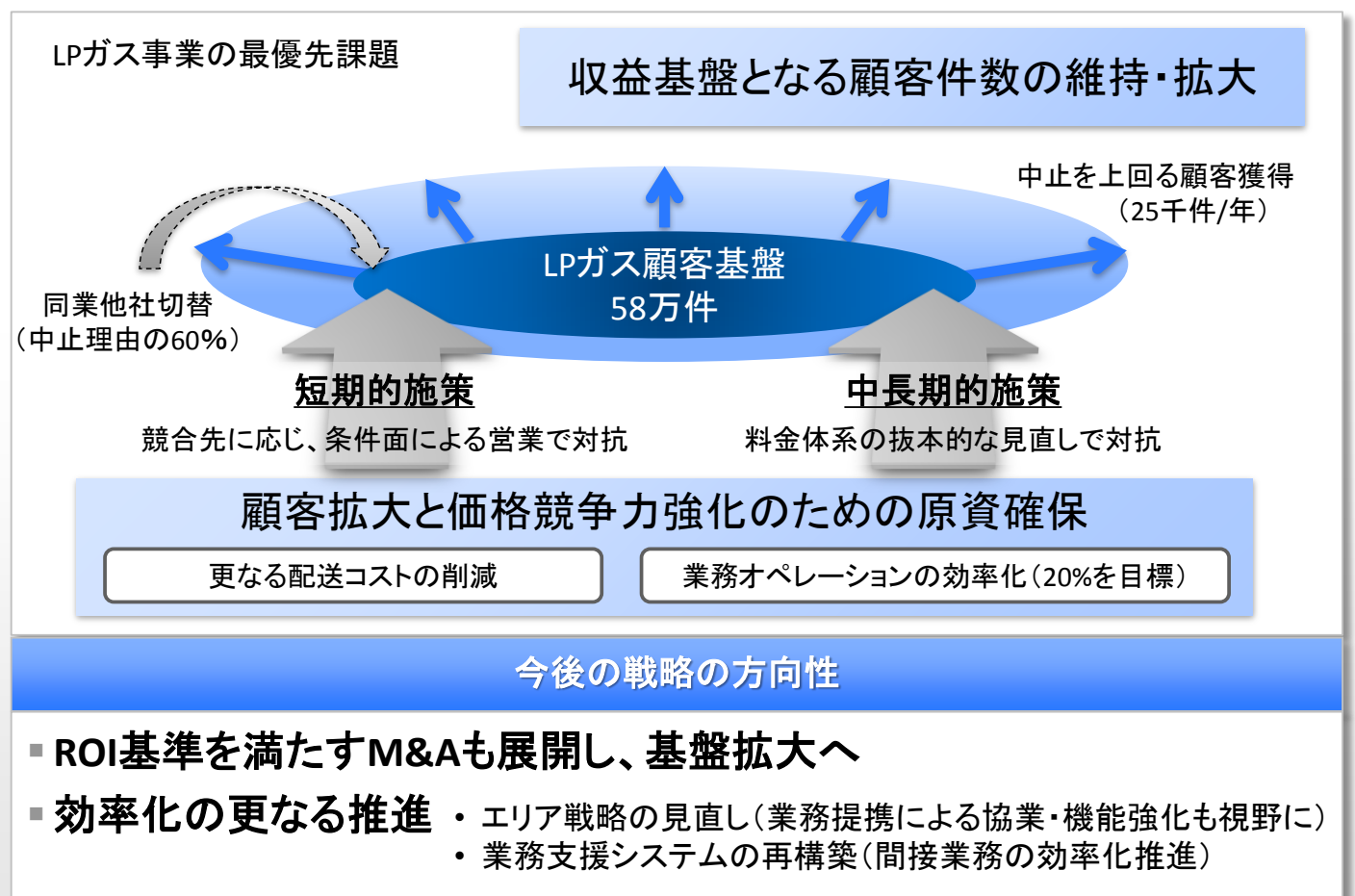
## Content

- 1 2012年度 第2四半期連結決算について
- 2 IP13の折り返しである2012年度上期を終えて
- 3 グループ主要事業のIP13後半課題について
- 4 2012年度 通期業績予想及び配当について

# (1)LPガス事業



12



13

## (2) 情報通信 (ISP事業)

ブロードバンド市場はモバイルを取り込み順調に成長

ブロードバンド全国普及率: 73%  
市場成長率: 前年対比 13%成長 (2012年度)

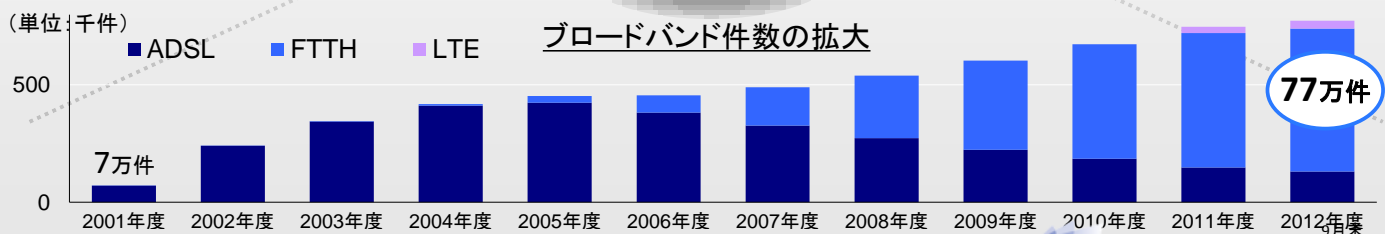
### 静岡・関東を中心に 全国77万件へ拡大

- ・ 静岡県で26万件のトップシェア (シェア26.4%)
- ・ NTT東日本エリアで依然獲得は順調

情報通信 (ISP事業)  
関東で築いた  
パートナー協業で  
エリア拡大へ

### 顧客獲得体制の 確立

- ・ 大手家電量販店での店頭販売ノウハウが強み
- ・ NTT東日本社との協業体制



14

TOKAIホールディングス

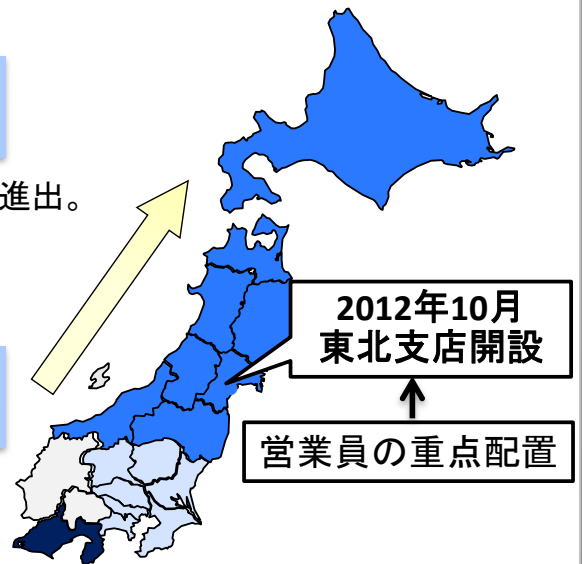
### ISP事業の最優先課題

#### 顧客獲得エリアの拡大

- NTT東日本社との協業関係をベースに東北エリアへ進出。
- 大手家電量販店での店頭提案販売を積極展開。

#### 収益基盤となる顧客件数の拡大

- 2012年度 東北エリアで1万件獲得
- 2013年度以降、1億円/年の収益増加



### 今後の戦略の方向性

- 顧客獲得エリアの更なる拡大
- 成長が見込まれるモバイル通信サービスの強化
  - ・ ソフトバンクグループとの協業により、4Gデータ通信サービスの開始 (MVNOでの実施)

15

TOKAIホールディングス



# (3) 情報通信(法人向け情報通信事業)

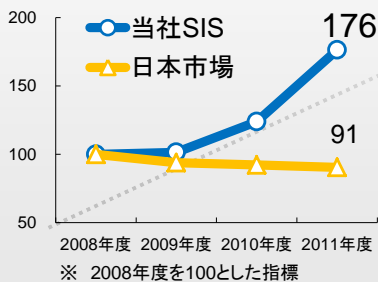
市場環境と当社の状況

リーマンショック以降  
ITサービス市場は低迷が続く

東日本大震災以降、  
BCP・DR対策ニーズは2倍以上に急増

市場成長率を  
大幅に超える拡大

情報通信事業の規模推移



情報通信(法人向け情報通信事業)  
収益性の高い  
独自サービスで  
急成長

大手通信事業者並の  
インフラを自社保有

- BCP・DRに最適な立地の岡山に第3のデータセンターまで延長
- 全国データセンター5社と戦略的ビジネスアライアンスを締結、バックアップ体制強化

三位一体の  
独自ソリューション提案

データセンター、企業向けネットワーク、システム開発をワンストップで提供

TOKAIホールディングス

16

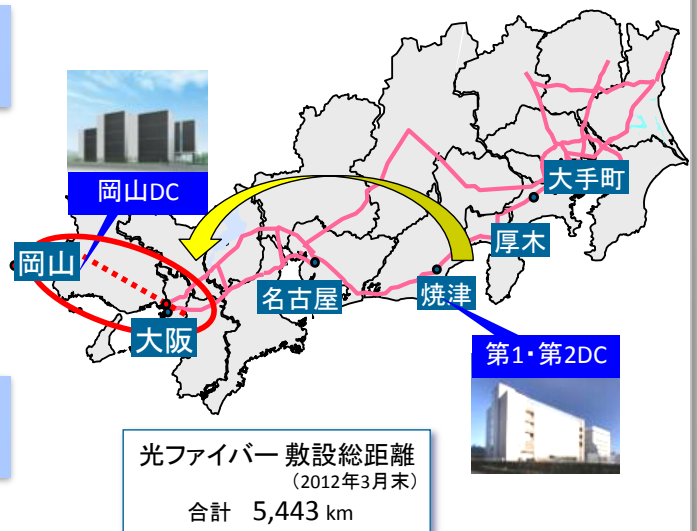
## 法人向け情報通信事業の最優先課題

### 西日本エリアへ進出

- BCP・DR対策ニーズを足がかりに事業拡大。
- 光幹線ネットワークを中国エリアへ拡大。
- 拠点営業体制の強化・TCOM総力で支援 (現在: 14名→2015年: 29名へ増員)

収益基盤となる顧客拡大

2016年度 売上高: 17億円



### 今後の戦略の方向性

- データセンター事業の戦略的ビジネスアライアンスを更に拡大
- 西日本エリアへTOKAIグループの事業拡大

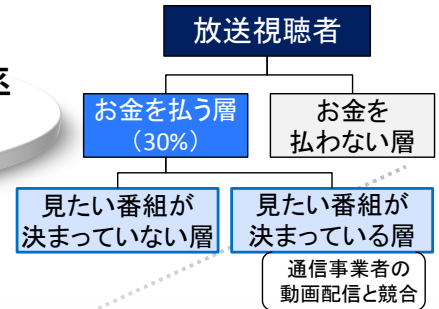
17

TOKAIホールディングス

# (4)CATV事業

市場環境と当社の状況

CATV放送は全国40%の普及率  
有料チャンネルも飽和状態



放送顧客は  
全国7位

- グループ放送顧客51万件 (放送加入率50%)
- 半数の27万件が主力の静岡県でその加入率は45%

CATV事業

融合を見据えた  
放送+通信の  
展開で発展

諏訪、倉敷で  
地域密着を実現

- 放送加入率、多チャンネルともに標準値を大きく上回る

	放送加入率	多ch加入率
諏訪	95.0%	66.9%
倉敷	39.9%	29.1%

CATV-FTTH通信は  
競争力を確立

- 2006年8月よりいち早くFTTH投資を実施。11万件の顧客を誇る
- 地域最安値の価格競争力を武器に、顧客獲得を更に推進

18

TOKAIホールディングス

CATV事業の最優先課題

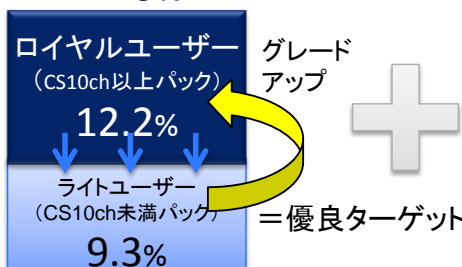
静岡県ではライトユーザーからの  
グレードアップ好機

高齢者・ファミリー層を  
ターゲットとしたアプローチ強化

多チャンネル加入率

【標準加入率】 20% < 【当社(静岡)】 21.5%

ロイヤルユーザー  
(CS10ch以上パック)  
目標: 20%



<ターゲットと施策>

ターゲット	ニーズに即した施策
高齢者層	生活支援サービスとのバンドル、コミュニティチャンネルの充実
ファミリー層	選択可能なチャンネルプラン、低価格のパックプランの新設

今後の戦略の方向性

- 放送と通信融合への対応が基本方針(放送・通信は両輪)
- VOD、次世代STB、スマートTVなど通信サービスの強化

19

TOKAIホールディングス

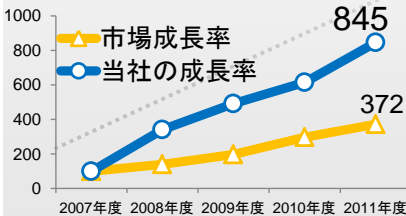
市場は2013年度まで二桁成長  
以降、安定成長へ

売上規模は2013年度：前年比12%成長  
2014年度以降は平均6%/年成長の見込み

市場成長率を上回る  
70%/年で急速拡大

- 2008年3月：1.2万件  
→ 2012年3月：9.7万件

アクア事業の規模推移



※ 2007年度を100とした指標

アクア事業  
リターンブルで  
ノウハウを構築  
高収益化に向け  
新たなステージ

今年7月顧客件数  
10万件を突破

- 全国シェアは4.1%と業界6位
- 静岡県内が8万件、普及率5.6%と県内トップ

静岡県内リターンブルは  
収益化達成

今期、黒字化を達成  
(2012年度 営業利益：1.2億円)

## アクア事業の最優先課題

## 成長後期の伸びしろの刈り取り

全国利用意向者 (8.8%)  
480万件

市場の伸びしろ  
約230万件

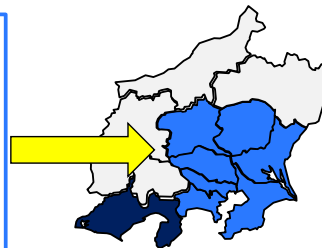
既存利用者  
249万件

20万件に向けて  
(営業利益：11億円目標)

<差別化施策>

- 商品価値を訴求するブランド力をアップ
- 当社の強みを活かしFace to Face 営業

重点ターゲットエリア  
【関東市場の伸びしろ：約80万件】



- 1) 利用意向が高いこと (10.3%)
- 2) 当社事業とのシナジー展開可能
- 3) メインターゲットである子育て主婦層に直接販売可能

## 規模の利益追求

- ・新工場稼働による製造コストダウン
- ・配送ほか原価コストの一層の効率化

## 今後の戦略の方向性

### 市場ライフサイクルの変化に対応する戦略展開

- ・成長後期：ニーズ顕在化顧客のスピーディーな取り込み
- ・成熟期：顧客の育成・ニーズの高い母集団の囲い込み

# Content

- 1 2012年度 第2四半期連結決算について
- 2 IP13の折り返しである2012年度上期を終えて
- 3 グループ主要事業のIP13後半の最優先課題
- 4 2012年度 通期業績予想及び配当について**

22

 TOKAIホールディングス

## (1) 2012年度通期の業績予想

- 7月31日公表値の通り  
(2012年5月公表予想比:営業利益+10億円、当期純利益+4億円)
- 通期業績予想は、下期に需要期を迎えるLPガス事業におけるCP、気温、為替等、現段階では先行き不透明な要素が多いことから、修正いたしません。

(百万円)

	2013/3期
売上高	187,200
営業利益	7,990
経常利益	6,750
当期純利益	2,380
1株当たり当期純利益	23.82円

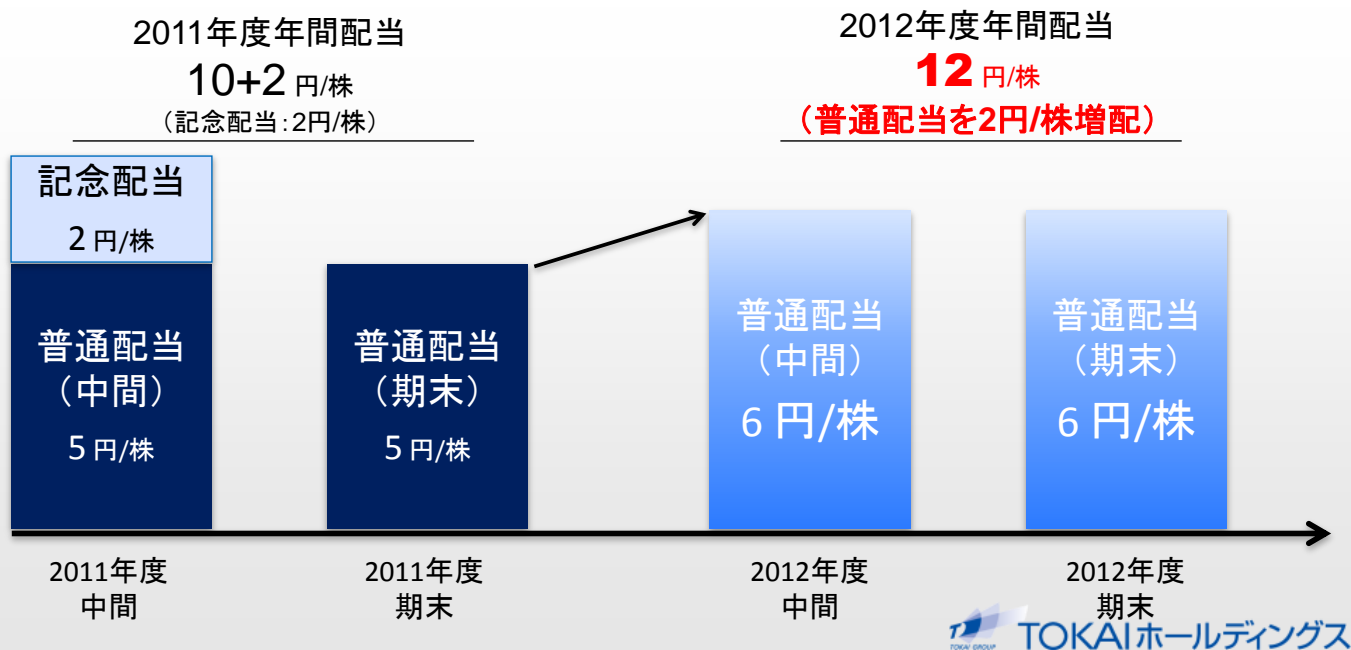
※CP (Contract Price)・・・サウジアラビア国営石油会社であるサウジアラムコ社が決定するLPガス通告価格

23

 TOKAIホールディングス

## (2) 2012年度 配当について

- 当社の配当方針に則り、安定的かつ継続的に還元を実施。
- 中間配当6円/株に加え、期末6円/を予定し、5月10日公表通り、年間12円/株を配当する見込み。



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス 広報・IR室  
〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8  
TEL:(054)275-0007  
FAX:(054)275-1110  
<http://tokaiholdings.co.jp>  
e-mail: [hd-info@tokaigroup.co.jp](mailto:hd-info@tokaigroup.co.jp)

うれしいをつなく。ひろげる。

